

各報道機関 様

KJ00597661

2026年1月22日

発信課	子育て支援部こども保育課
担当者	池田
連絡先	電 話 25-9844
	F A X
	E-mail ahc@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 <input checked="" type="checkbox"/> 募集 <input type="checkbox"/> 契約・入札 <input type="checkbox"/> 会議・説明会 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
日 程	令和8年2月4日 14時00分 ～ 令和8年2月4日 16時00分
発表項目 (行事名)	キックオフシンポジウム「地域で育む保育の未来 ～保育現場から 広げる質向上～」
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>(趣旨) 本市が受託した国モデル事業「地域における保育の質の向上の体制 整備調査研究」の推進に当たり、保育・幼児教育に関わるステーク ホルダーが一堂に会し、基調講演やパネルディスカッションを通じ て保育の質向上に向けた取組を推進していくための第一歩とするも の。</p> <p>(日時) 令和8年2月4日(水) 14時から16時まで</p> <p>(場所) 旭川市市民活動交流センターCoCoDe ホール</p> <p>(内容) ①基調講演 東京家政大学 教授 堀 科 氏 ②パネルディスカッション 堀教授ほか4名</p> <p>(対象) 市内保育・幼児教育施設従事者、指定保育士養成校関係者 など</p>
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道(取材)に当 たってのお願い	
備 考	



保育の質の向上ネットワーク形成 キックオフ シンポジウム



地域で育む保育の未来

～ 保育現場から広げる質向上～

日時

2026.2.4 水

14:00～16:00 (開場 13:30)

入場無料
定員180名

会場

旭川市市民活動交流センター CoCoDe ホール
(旭川市宮前1条3丁目3-30)

対象

●保育従事者


保育・幼稚園経営者、保育・幼稚園長、
保育者リーダー、保育士、幼稚園教諭、ベビーシッター

●自治体・保育行政担当者

●保育士・幼稚園教諭養成校関係者(学生含む)



プログラム

14:00	開会 主催者挨拶	
14:10-15:00	基調講演 「保育の質とCo-Agency～地域が支える子育て」 ■講師 東京家政大学 教授 堀 科 氏	
15:00-15:10	休憩	
15:10-15:50	パネルディスカッション「地域で育む保育の未来」 ■モデレーター 北海道教育大学 教授 片桐 正敏 氏 ■パネリスト 東京家政大学 教授 堀 科 氏 旭川市立大学 教授 椎名 澄子 氏 エールこども園 園長 岩崎 安貴子 氏 めいほう幼稚園 園長 山本 健太 氏	
16:00	閉会	

申込方法

右記二次元コードよりお申し込み下さい

申込期限 1月28日(水)



※ご参加にはお申し込みが必要です。
二次元コードから専用応募フォームへの入力をお願いします。
※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただきます、他の目的には使用いたしません。
※お申し込みは定員になり次第、締め切らせていただきます。

お問合せ

旭川市子育て支援部こども保育課

☎ 0166-25-9844

✉ ahc@city.asahikawa.lg.jp

主催



● 開催に当たって

本市は、国のモデル事業「地域における保育の質の向上の体制整備調査研究」を受託し、地域の保育の質向上に向け旭川市保育センターが中核となり、地域ぐるみで保育の環境づくりを目指してまいります。

本シンポジウムは、保育・幼児教育従事者や保育士養成校関係者が集まり、地域での保育の質向上に向けたビジョンを共有するとともに、基調講演やパネルディスカッションを通じ、各ステークホルダーの役割について実践的な知見を深めることを目的とし、参加者の皆様が、地域で質の高い保育を支えるためにどのような役割を担うべきかを共に模索することで、今後の取組を推進する第一歩とするものです。

● 登壇者紹介

【基調講演】講師・パネリスト



東京家政大学

教授 **堀 科 氏**
Hori Shina



所属／東京家政大学大学院・東京家政大学児童学部 教授

幼稚園型認定こども園東京家政大学附属みどりけ丘幼稚園 副園長

専門／保育学・乳児保育

公職／こども家庭庁 保育専門委員会委員

こども誰でも通園制度の本格実施にむけた検討会構成員

厚生労働省 地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会委員 他

著書／『よくわかるこども誰でも通園制度』秋田喜代美監修 チャイルド本社 2025年

『これからの時代を生きる子どもたちのための保育方法論』堀科編 創成社 2024年

『人口減少時代に向けた保育所・認定こども園・幼稚園の子育て支援・地域とともに歩む22の実践事例』

倉石哲也編集代表・石井章仁・古賀松香・堀科編 中央法規出版 2023年

『幼保連携型認定こども園における園児が心を寄せる環境の構成』

内閣府・文科科学省・厚生労働省編 フレーベル館 2022年

『乳児保育の理論と実践』阿部和子・大方美香編 光生館 2019年 他

【パネルディスカッション】モデレーター



北海道教育大学

教授 **片桐 正敏 氏**
Katagiri Masatoshi



所属／北海道教育大学旭川校 教授

専門／特別支援教育、教育心理学、認知神経科学、発達心理学
研究テーマ

・発達障害のある子どもたちの認知機能特性の解明と支援法の開発

・自閉症スペクトラム障害、発達性協調運動障害(DCD)、ディスレクシアに関する研究

公職／旭川市子ども・子育て審議会 会長

日本LD学会 代議員

旭川市国際交流委員会 副委員長

著書／『ギフテッドの個性を知り、伸ばす方法』共著 小学館 2021年

『発達障害のある子どもの理解と支援』共著 清風堂書店 2025年 他

受賞歴／日本LD学会 研究奨励賞(2024年)

日本健康心理学会 本明記念賞(2017年)

【パネルディスカッション】パネリスト



旭川市立大学
旭川教育大学

旭川市立大学

教授 **椎名 澄子 氏**
Shiina Sumiko



1972年札幌市生まれ。1999年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。現在、旭川市立大学短期大学部幼児教育学科長、上川圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会委員ほか公職。

担当科目／造形表現、図画工作など

研究テーマ／・プロセスに重点をおいた造形表現
・表現本来のあり方



エールこども園

園長 **岩崎 安貴子 氏**
Iwasaki Akiko



1965年旭川市生まれ。1986年旭川大学女子短期大学部幼児教育学科卒業。現在、幼保連携型認定こども園エールこども園園長。旭川大学短期大学部非常勤講師、拓殖大学北海道短期大学部幼児保育学科非常勤講師。

担当科目／乳児保育、子育て支援

教育資格／幼稚園教諭二種、保育士



めいほう幼稚園

園長 **山本 健太 氏**
Yamamoto Kenta



1988年美唄市生まれ。2024年北海道教育大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻修了。現在、学校法人旭川宝田学園めいほう幼稚園園長。

教育資格／小学校教諭一種、幼稚園教諭一種、特別支援学校教諭一種、保育士

地域で育む保育の未来

～保育現場から広げる質向上～